

第3回 三朝町保育施設のあり方検討会 会議録

1. 日 時 令和元年6月25日（火）午後7時～午後8時30分
2. 場 所 三朝町役場 第2会議室
3. 出席者 【委 員】 布広覚会長、大丸倫裕副会長、松原万里子、平井研、小椋史紀、
向井由里子、藤井博美、高見昌利、米田功、田中千鶴
【 町 】 町民課：山中町民課長、井上主査

（敬称：略）

4. 内 容

I 開会

【事務局】 出席委員過半数以上により会が成立することを報告

II 会長挨拶

【会長】 挨拶

III 議事

（1） 指定管理者制度導入施設の検証について

【会長】 指定管理者制度導入施設の検証について、事務局から説明をお願いします。

事務局 資料「指定管理者制度導入施設の検証について」に基づき、説明

【会長】 賀茂保育園が指定管理者制度によって運営しているというのが、三朝町の実態ということですね。

【事務局】 三朝町では、三朝町総合スポーツセンター、福祉センター、賀茂保育園、多目的展示施設、ふるさと健康むら、観光商工センター、多目的駐車場、ブランナールみささ、温泉活用施設の9施設を指定管理者制度の導入をしております。

【委員】 資料によると、今年は賀茂保育園が計画訪問ということですか。

【事務局】 はい。今年度の計画訪問は賀茂保育園。要請訪問としてみささこども園、竹田保育園を予定しております。毎年3園とも計画訪問か要請訪問として実施しているところです。

【会長】 それは、県の教育委員会と知事部局の方が訪問されているのですか。

【事務局】 具体的には、本日出席されておられます鳥取県の田中委員に訪問に来ていただいて

いるのですが、知事部局である子育て応援課としての職員の立場と教育委員会部局である中部教育局の立場として、それぞれ併任の辞令を受けておられ、訪問していただいて保育の内容について指導、助言をいただいているものです。

【委員】 訪問の実施主体は（知事部局の）福祉部局なのですが、実際、幼児教育の教育面を見るというのが教育委員会と園の経験者である保育専門員、幼児教育アドバイザーと一緒に回らせていただいてその部分を見させていただいております。

【会長】 今までの説明では（賀茂保育園の指定管理者は）概ね良いという評価ということのようですが、皆さんの方で何かご意見はありますか。

（特になし）

【会長】 それでは、次の議事に移る前に中部教育局から来ていただいております委員から何かこの時点でのご意見がありましたら一言いただけないでしょうか。

【委員】 鳥取県としましては、園の訪問というところでは、各市町回らせていただいているのですが、市町によっては保育リーダーを設置されていて、その方がその町の保育というところをみるという場合もあるのですが、設置されていないところに県の私たちのようなものが訪問して園の運営であったり、教育面であったりというところを見させていただいています。三朝町におかれましても、県の方が毎年どの園かに行かせていただいています。三朝町はどこの園でそうやって私たちが訪問するときには、残りの2園の先生方も来られて一緒に研修しているというようなことをずっと続けられているというところが特徴的かなと思っています。ある園に行ってお話をさせていただいているのですが、それを（参加された園の方が）各園に持ち帰っていただいてそれぞれの園でしていただいている状況です。そのように進んでおられるところが良いところかなと感じさせていただいております。

（2）三朝町保育施設の今後の方針について

【会長】 次に進めたいと思いますが、ご意見がございますか。

【委員】 次の議事が「今後の方針案」というところに入るのですが、そもそも町はどうされたいと思っておられるのですか。事前にアンケートで「メリット、デメリットを書いてください。」とありますが、何を目指されているのかなと。施設のあり方として、竹田保育園のことであれば誰が考えたって、「竹田保育園は廃止して、基本的には賀茂保育園と統合する。ついては、みささこども園を指定管理者制度にしたい」と言っているのですか。私たちは何を検討したらいいのでしょうか。この際なので何を検討してもらいたいのかを（明らかにしてほしい）。例えば、「みささこども園を指定管理者にしたいのだが、それについては、どうだろうか。」「竹田保育園を廃止して賀茂保育園と統合したいがそれに対してのご意見はどうだろうか。」という議論を（町が）お願いしたいということなら話はわかりますが、それ

ぞれのメリット、デメリットというのは何のためなのだろうかというのを感じました。最初の町長の挨拶の時から私たちは何を議論すればいいのかと。私たちとしては、「こういう会を開きました。結果的にはこういう方向に導かれました。」というのを、その会の会議の議論というのは中途半端に終わりながら、取りまとめてみたら「この会議の方向はこういう方向でした。」というような話になっていて。これが小学校の統合問題も同じ理屈ではなかったのでしょうか。結局、それは町の方針の中のアリバイを作るために活用されたというような感じがするのです。それで今回、いろんな案が示されていますが町としての方針というのは示されていないような気がしています。

【会長】 確かにそういった考え方もあるかもしれませんが、私たちとしては結論を導くために現状を把握しながら進めていきたいと思っております。

【委員】 これは、子どものための幼児教育の話ではなくて、三朝町の行政のスリム化をしたいというような議論であろうと思わざるを得ないのですが。それが目的だと思っています。それは、ここで議論するべきものなのか。本来であれば、町が方針を出して議会に説明して、議会で園の存続するのか、統廃合するのかを議論すればいい方法もあるのだろうし、その前段として、町のお膳立てをこの会でしておく程度のものではないのかなと感じてしまう。

【会長】 町長の（諮問として）検討会に、この問題を出されたと。

【委員】 会議には、（問題を）投げかけて結論を得る会と、投げかけて結論を得ない会という2種類がある。この会はどちらなのか。それとこの会の回数が限定されているというのも一つあって、この間の話で5回程度を予定しているとのことであったが、深い議論は必要ないという裏返しではないかと受け取ってしまう。つまり、結論を必要としないというような気がしてしまう。だからもう少し具体的な方針というものを町は示すべきと思います。あとは、次の議題に入ってから意見があれば言わせていただきます。

【会長】 いろんなご意見はあるかと思いますが、皆さんの意見をまとめながらひとつの方向性を示すことが必要でないかなと思います。それでは、事務局から説明を受けたいと思います。

（事務局 資料「三朝町保育施設の今後の方針案」により、6案の説明）

【会長】 事前にアンケートを配らせていただいて、皆さん検討していただいたのではないかと思います。ここに示されていること以外に案があるのか、ないのか。示されたものの中から一つ選ぶのか。そういったところで皆さんの意見を聞きたいと思います。

【委員】 小学校の統合というのはあったのですが、保育園の統合はなかなか大変ではないでしょうか。特に、今回の場合は、町としては「みささこども園は指定管理にしたい。」ということなのだろうと思います。それはそれで結構だと思います。問題は竹田保育園の取扱でないかと思います。小学校は、例えば自分の足でバスに乗れるし、通学が可能なのですが、園児は自分では無理ですよね。穴鴨から賀茂まで行かせるというのはどうかと。

【会長】 保育園の園児は、保護者が送迎をするのが大前提です。

【委員】 だから難しいと思います。保護者の負担をかけて、いけないといけなことになる。みささこども園を指定管理者に出すことは問題がないと思いますが、つまり、子どもの保育の質が落ちなければ町が直接、運営しようが、他が運営しようが。むしろ、町でない方が質が高まるという場合もあるのかもしれない。ただ、竹田保育園を直営で残して、他を指定管理に出すというのは別の議論が起きてくるのではないかと思います。

【会長】 比較的に指定管理者にお願いすることで財政的な部分は軽くなるという説明であったかなと思います。

【委員】 園を指定管理に出せば、園児に事故が起きた際、町としてその責任を免れますよね。

【事務局】 指定管理者に重大な過失等あれば、指定管理者が責任を負うかもしれませんが、原則町の責任となります。

【委員】 それであればいいです。問題は竹田保育園のことですね。

【委員】 竹田保育園が議論の中心になりつつあるので、その辺りを軌道修正してほしいのですが、平成18年の答申を受けて賀茂保育園が公設民営になった背景があって、それから12年経ち、一つお聞きしたいのですが、第11次総合計画が今年策定されて、その中に保育施設の将来性など語ってないのですか。

【事務局】 「施設のあり方について、検討していく。」という部分と「保育の質の向上」の部分等を明記しております。

【委員】 今の保育施設というのが、賀茂保育園が公設民営、直営が2つ（みささこども園、竹田保育園）という現状で、問題になるということというのは「保育の質」が悪いのか。財政的に統廃合したほうがいいのか。というこの2点が、あり方を考える現状分析だと思います。その中で「今のままでいい。」という答えもあるのかもしれない。「少子化もあるし、将来的にはその現状に合った体制整備というのを今から考えておかないといけない。」というようなこともあるのかもしれない。財政的な負担が大きく、何とか免れたいというのがあるのかもしれない。町として財政問題だけで、保育所のあり方というものを考えている訳ではないように思えるのですが。この辺りがどうなのかを聞きたい。そこを押えないといけない。

【事務局】 委員が言われたように財政的な問題だけではございません。（安心した保育体制を確保するための）保育士の不足というの大きなウエートを占めております。保育士は全国的に見ても不足しているような状況の中で、例えば統廃合をすればということもありますが、その辺りについては資料を説明しながら進めさせていただければと思います。

【委員】 要するに保育の質と財政問題ということですか。お金を落とせば質が悪くなるのかもしれないし。でも終局は、先方から出ている辺りに議論が行くのだろうけど、何のためのあり方検討会かなと。それなら最初から町が「こういう方向にしたいのですが、みなさん意見はどうですか。」といった形で進めたらと思います。もう少し、その辺に至る過程の意見を皆さんで出し合ってもらったほうがいいのかなと私は思います。

【事務局】 問題点がある中で、「統合」であるとか「民間活用」というものに行きつくのかなということです。まず、案を示させていただいて、それぞれのメリット、デメリットをお話しさせていただいてからその議論に進ませていただくという形でもよろしいでしょうか。

【会長】 お願いします。

（事務局 資料「三朝町保育施設の今後の方針案」により、各案のメリット、デメリットを説明）

【会長】 6つの案を説明いただきました。これについて、ご質問等あればお願いします。

【委員】 案5で「公立の正規職員の配置の問題」というのはどういう問題ですか。

【会長】 今の公立の園（みささこども園、竹田保育園）に勤めている保育士、調理師がその園が指定管理者となった場合にどこに配置するのかということではないでしょうか。例えば、役場内で配置になるのかというようなことだと思います。

【委員】 そうであれば、案3の場合も同じ問題は発生しないのでしょうか。

【事務局】 竹田保育園が現状のままですと、竹田保育園で配置することは可能ということになります。

【委員】 臨時の職員の方は切ってしまっって、正規職員を竹田に配置するという意味ですね。

【事務局】 「切る」という表現は適切ではなくて、新しく指定管理者の導入をした場合には指定管理者での採用をお願いしていくということもあるのではと思います。

【会長】 その他にはご質問は。

【委員】 6案に対して町が明記しているメリット、デメリットについて自分でも考えてみましたが、大体同じことが明記されている。次の段階でこれからどうするかということになる。現状ではみささこども園も竹田保育園も正規職員が少ないという問題もある。これは解消していかないといけないと思う。

【委員】 本当に保育士が不足しているのですか。

【委員】 他町でも不足しているという声はよく聞きます。

【委員】 正規職員であれば手を挙げる方っていないのですか。保育士を目指しておられる方っているじゃないですか。けれど、正規職員で雇ってしまうと弾力性がなくなるので、大赤字になるというようなことも考えられるのでしょうか。待遇面だけの話ではないのでしょうか。

【事務局】 正規職員で採用するとすれば、応募があるのかもしれませんが、他の市町でも公務員の若い職員というのは低い待遇でして、辞められる方も多いと伺っております。民間では公立の臨時よりも民間の正規採用を選ばれる方というのもおられます。

【委員】 公務員の若い職員というのはなかなか採用枠がないので、仕方なく民間にということなのかもしれないが。

【委員】 町の（臨時職員の）場合だと、任期半年、半年たてば1回更新、続けようと思えば、また試験受けてという繰り返しということでは、なかなか行きたがらないではないかと思います。

【事務局】 正規職員と同じ待遇面での任期付きという形で募集しましたが、応募はありませんでした。

【委員】 任期付きであれば、自分の職場で良い状態のときに任期が切れてしまうようなものであれば人は集まりませんよ。

【委員】 あと数年で「同一労働同一賃金」という制度が始まりますが、臨時職員で担任を持てる方と正規職員で担任を持てる方がどう違うという区別が難しいものであって。

【事務局】 三朝町ではみさきこども園で1名、竹田保育園で1名臨時職員の方に担任をお願いしているのですが、他の市町ではなかなか担任を正規職員で対応ということが本町ほどできないような状態だと伺っております。また、少子化になっている中、今後正規職員を多く雇っていくということは難しい状況だと思います。

【委員】 以前の自立に向けた行動計画の中で、正規職員の保育士をずっと採用してこなかった。一度、何名かを採用されたときがありましたが。だから、もうその時から方向性は決まっていて、おそらくこれからも正規の保育士を町が採用することは難しいと思う。これを言ってしまうのは、もう方向性というのは出てしまう気がする。

【会長】 もう一つ話が変わるが、定員管理の問題はどうですか。今職員の定員でいけば職員数は、いっぱいですか。

【事務局】 （条例上の）定数と定員管理とは少し異なるのですが。

【委員】 このままだと正職員として職員を募集しても、業界の状況から職員が集まらないという状況はあるのではと思います。

【委員】 賀茂保育園が指定管理者ということですが、実際にそれを行っている賀茂保育園の現状を出してもらったのですが、賀茂保育園が抱える指定管理者ゆえの苦労など、保育士の確保にしても民間であっても大変だろうと思うし。この前町内の事業所で賀茂保育園のオープナーのチラシが置いてあり、園児の確保のためにすごい苦労をされていると思います。実際に運営されての大変さ財政面とかもあると思うのですが、公立の保育士のほうが安定しているので長い目で見ると人材確保される継続されるので、民間であってももちろん確保できないといけないのですが、問題は保育士の待遇が改善というところもあわせてどうなのでしょう。

【事務局】 賀茂保育園ですが、園児の募集はされておりますが、それはどの施設でもされております。保育士の処遇につきましては、全国的に問題となっており、国制度において処遇改善として、運営費に加算を付けており、今後もそういう動きはますますあるのではと思っております。保育士の給料は数年前と比較し、上がっている状況にあると思います。また、公立の方が長く安定した雇用と言われましたが、賀茂保育園におかれましては長く勤務されておられる方というのたくさんおられますし。民間の保育士でやめられる方というのはあるのかもしれませんが、それは公立においても同じことです。正規職員でも他の市町ではやめられる方もおられると伺っています。臨時職員でも継続雇用ができないということで変わられることもありますので、その辺について民間だから安定した雇用ができていないということはないと感じております。公立であっても民間であってもそれぞれ問題点を抱えており、その中で色々頑張って運営をされていると思っておりますし、もし、賀茂保育園が運営に困っているということであれば、3期も指定管理者の応募をされないのかなと思っております。民間においては公定価格の範囲内で運営を行っておられますので、賀茂保育園だけでなく、民間の事業者は同じ条件で運営を行っておられると思います。

【会長】 議論するのに「もっと他に資料が欲しい」、「説明をもっとしてもらいたい」というようなことが委員の皆さんからありますか。

（委員 特になし）

【委員】 個人的には、逆行するような話なのですが保育所というのは規模が大きいのではなくて、小規模なものを分散させた方がいいのではという思いがあります。それは、いろいろな条件が整わず、大きい規模になって、それともう一つは親の都合で預ける保育所を選ぶという形になってきているが、地域の中に身近なところに保育所があった方がいいような気がします。それは私の年代の感覚なのかもしれないが。小規模なものを集約しようというのが保育所のあり方として本当にいいのかと思う。財政面の制約で議論するのであれば、結論的なことは見えていると思う。保育士の処遇の問題で、職場がなくなった時にどうするかという

問題で、どこも保育士の正職が足りない状況で、中部の中で、広域で保育士を雇うような形でやっていくというような考え方にしないと、これまで保育士をしていた方を明日から事務というのは、保育士をやりたくて職を選んだ人はなかなか転換できないと思うし。いろんなことを考えたときに、もう少し広い範囲で受け皿を考えながら全体をしないといけないのではと思います。数が少なくなった保育というのを財政面で考えるのがいいのかというところに少し引っ掛かってしまう。結論はなんとなく見えているのだと思うが。

【会長】 今日結論というところまで出せる状況ではないのかなと思っておりますし、たくさんの皆様のご意見を伺いながらと思っております。

【委員】 私は「森の幼稚園」というのに非常に興味があり、園舎はいらない。あれも運営のひとつではあるというように思っています。0歳児なども企業と提携し、預かるというような記事も出ていたが、さすがに低年齢児を園舎なしで預かるというようなことはないということでそこには園舎を建てるということであるが。そういったところは立派な建物がなくても、運営をやっている、一方でエアコンをついた立派な施設作っていて、その施設が古くなったという話をするのでしょうか。竹田保育園は、確かに古い建物だけど、では子どもがどう感じているかというのはわからない。それと、園が巨大化して、たくさんの園児がいるところが幸せなのかどうなのかというのは判断が難しいところだろうなと思っています。

【委員】 私としては町保育施設がどういう形になっても子どもが安心して過ごせるという目線だけは外したくないと思います。そのためには保育士が安心して働けるということからだと思います。指定管理者を導入された際に、理事長などの声などが入って保育士が働きにくいという状況があるのじゃないのかなと思いますし、園児確保とか保護者からの評価を職員が気にしすぎて保育の質も懸念されますし、子ども目線もずれてくる可能性があるというところが気になります。

【委員】 素朴な疑問ですが、竹田保育園と賀茂保育園が統合して定員は大丈夫でしょうか。全員が預けられるのでしょうか。

【事務局】 現状、竹田保育園は11名です。現状ではみささこども園と賀茂保育園で分散であれば預けることができる見込みです。ただ、町外の広域の子どもが30名程度おられてその方も町内となると竹田保育園がないと今現状は（すべての児童を2園で預かることは）難しいところはあります。

【委員】 もし、足りなくなったら増設ということは考えられてないですか。

【事務局】 増設については、昨年、賀茂保育園を増設したのですが増設となるとみささこども園にしても賀茂保育園にしても構造的に難しい部分はあるのかなと思っております。

【委員】 となると、統合は難しいのかなと思ってしまうのですが。

【委員】 今、広域に出ている子どもは町内園に入れないから仕方なく外に出ているというケースなのですか。

【事務局】 広域児童については、保護者の方が通勤の関係であったり、その園の運営の仕方に共感されてということで、町内園に入れないからという理由の方はないです。ただ、みささこども園と賀茂保育園の間で0歳児、1歳児の低年齢児の中途入所に関しては（入所児童数や）保育士の数などもあり、希望の園は難しいということをおっしゃっていただいたことはあります。

【委員】 現状もし、（竹田保育園がなくても）0歳児、1歳児の受入れは可能でしょうか。

【事務局】 未満児の受入については、温泉病院などの看護師のお子さんも広域受入としてお預かりさせていただいておりますが、その状況によっては（町外からの）児童の受入れができないときがあるかもしれないと思っております。（みささこども園、賀茂保育園で受け入れ困難なときで）どうしても、町内園で預けたいというケースとなった場合は竹田保育園を紹介しているような状況です。

【委員】 「現状は」ということですね。もし今後、竹田保育園が統合となったときに、どこにも預けることができない児童ができてしまうと預ける側としては「統合」というのはどうなのかと。

【会長】 この会議で統合ということを決めても受け入れられないということになってくるとその辺りも考えないといけない。

【事務局】 部屋の問題ということもあるのですが、保育士がいらないことには保育士の配置ができないことには受入れができないということもございます。

【委員】 現状は預けられているので、現状をベースに考えると（統合は難しいのかなと）。

【事務局】 今後、子どもの人数も減っている傾向もありますし。

【委員】 保育士の数もそうなのでしょうが、子どもの数も今後増える可能性もないことはないと思います。もう一つ、保育リーダーが現状いないというのは何か理由があるのでしょうか。統合したら設置ができるのでしょうか。

【事務局】 保育リーダーとは保育士の中から研修を受けていただいて、保育の指導・助言をしていただく立場の方ですが、各園とも保育士が不足している状況ですので、三朝町としては置けていないところです。鳥取県の方からは保育リーダーの設置が好ましいとされておりますが、保育士の人数的に余裕ができてくれば置くことは可能ですが。

【委員】 保育リーダーというのは保育をするわけではないのですか。別の立場ということですか。

か。

【事務局】 保育士の質の向上のために研修を計画したり、保育内容や技術向上のため、各園を訪問して町内の園の指導、助言を行う立場です。例えば町の子ども支援室に配置するというようなものです。なかなか一般職が（専門職である）保育士を指導というわけにはいかないので保育の経験を積んだ方が望ましいのかなと考えております。

【委員】 私が竹田保育園に子どもを預けているのは、家から近いということもあるのですが、少人数でやっていること、地域の人との交流している、保育で園外に出て遊んでいるというところを聞いて、いいなと思って預けています。他の園の方針であるとかわからないのですが、施設ごとのこういう保育をやっているという特色あるところに人が集まっていくと思っていて、園児もですがそれは職員もそうではないかなと思います。働く人もやりたいことがあると思うので、そういった魅力あることをもっとアピールしていかないと難しいのかなと思います。

【委員】 先ほどのリーダーの配置というわけではありませんが、公立の保育園から昨年1名、今年1名ミドルリーダー研修に参加しております。先ほどの特色のことですが、私の考えとしては自然ばかりというのもどうかと思いますし、バランスよく育ってほしいという気持ちがあります。（保育施設の）現状のままのメリットですが、昨年の10月くらいに竹田地区の国道が陥没したことがあり、みささこども園と竹田保育園が連絡を取り合い、職員を交流して開園したということもありました。それから、0歳児の受入れが賀茂保育園もみささこども園も受入ができなかった際に遠方からでしたが、竹田保育園は受入れを行いました。それと里帰り出産というものがあり、その際に上のお子さんをお預かりしました。（竹田保育園は）急な保育希望に対応しやすいというところがあります。私たちの方で心配なのは、指定管理の経営が悪化した際に急な撤退というのが保護者さんにも子どもにも大変になるという心配をしています。それと、何らかの課題を抱える保護者というのがおられますが、経験が少ない指定管理者であればその対応が懸念されるのかなと感じています。

【会長】 その他、皆さんの方で何かご意見はありませんか。なければ時間もかなり経過しておりますし、終わりにしたいと思います。

それで次の会では話も出尽くしてきたのかなと感じておりますので、ある程度方向付けをしていきたいと思います。

次回の日程は7月23日か24日のいずれかでこの時間でということとしたいと思います。皆さん色々なご意見をいただいたということで次回方針ができればとそのような感じをいたしております。以上をもちまして第3回目のあり方検討会を終了したいと思います。皆さん遅くまでありがとうございました。

閉会 20：35分

以上